

諮問事項に関する意見のまとめ

第1回～第3回会議（平成29年11月1日 意見集約から）

■現状と課題

- 美原区内には、健康づくりに関して市民が自主的に活動する「自主グループ」が43あり、その会員は約1,000人である。中でも、グループ数・会員数ともに過半数を占めるチューブ体操に取り組む自主グループは、区域のほとんどの地区にあり、身近な公民館で定期的に活動している点で、美原区の特徴的な自主グループとなっている。
- これら自主グループの会員は、女性が多く、男性が少ない状況である。自主グループ以外での健康づくりに取り組む区民の数は不明であるため一概にいえませんが、自主グループに参加する男性が少ないことは現時点では課題と考えられる。より多くの方が参加できるよう開催日時に工夫をするにも、会場の確保に課題がある。
- また、会員の高齢化やリーダーの育成などについて個々に課題を抱える自主グループがある。こうした自主グループの運営を支援するため、リーダー等が集まる健康づくり推進委員会を開催し、情報交換や交流、研修を行っている。

■審議にあたっての留意点

- 健康をテーマに審議すると、身体の運動が第一に考えられるが、食や睡眠などの生活習慣や口腔ケアも大切である。また、年少者や高齢者に着目しがちだが、働いている年代の生活習慣にも焦点を当てたい。
- なお、本評議会の平成27・28年度の答申を踏まえた新たな事業を進めることにより、校区自治連合会の負担が大きくなることを考慮して審議を進める必要がある。

■課題解決に向けて

- 一人ひとりが健康になるために、共助の観点から区民がどのように取り組む

かがポイントになる。身近な地区の公民館で顔見知りと一緒に取り組むスタイルは美原に合っているのではないだろうか。そして、美原のつながりの強さを生かして健康寿命への意識を高め、行動に結び付けることが大事である。

- 地区ごとに行われている健康づくりの活動と福祉活動が連携し、時間帯や活動メニューを工夫することで、働いている年代や一人暮らしの高齢者なども参加しやすくなり、コミュニティの活性化につながることも期待される。
- 健康づくりの参加者を増やすには、人が集まる場所へ健康づくりの担い手が出向くことも考えられる。特に子育て世代の男性は、子どもと参加することが取り組みのきっかけになり得る。
- 健康づくりの活動を支える世話役の負担を軽減できるような支援策も考えていきたい。

第4回会議

- 検診の受診啓発には、具体的なメリットがあると分かる情報と、病気と分かっているからの不安を取り除く情報が必要ではないか。
- 講演者の一覧表を作成し、さまざまな団体へ配布しておいて、普段の活動で集まる時間の一部を講演会に充ててもらうことが考えられる。
- 高齢の方は若い方と活動することで元気さが変わってくることを、健康づくりの面でも考えておきたい。